

議案質問

一般質問は、行政全般について60分の間に質疑応答、また提言もできますが、議案質問は市長が提出した議案に対し、質問をします。議案はまず各常任委員会（取手市議会は総務文教常任委員会・福祉厚生常任委員会・建設経済常任委員会の3つがあります）に分けられ、委員会の中で話し合われます。委員会の中では1回の質問が5分間です。3月議会では予算、12月議会では決算が必ず議案に載り、特別委員会を結成して審議されます。この予算特別委員会では1回の質問が8分間となっています。

平成24年度一般会計予算
賛成多数で可決されました

今年度予算の総額は、約543億円となり、前年比19%減となりました。一般会計は325億7千万円です。

採択するときは非常に悩みました。例えば、今回の予算の中に計上されている子ども発達センターの移転は是非行なってほしい予算です。（高須小学校から、購入済みの東電取手営業所に移転が決定し、改修工事が行われます）

しかし、防犯灯9700本を一齐にLED化する計画に対しては、市民感覚としては、まだ使える蛍光灯を廃棄するので非常にもったいなく感じます。また、LEDの技術自体まだまだ進歩し価格も下がることが考えられるのに、一年間で一気に交換し、その後一〇年リース契約というやり方は受け入れがたいです。ですが、5年の間に5%の電力量削減をしなければならぬことを考えるとLEDは有効とも考えられるのです。

このように、賛成する予算と問題ありの予算が混在しましたが、予算は一括での賛否判断のため、おおむね良しとして賛成しました。



取手駅西口整備事業特別会計予算
意見がわかれました

この議案は生活者ネットワークで何度話しあっても結論が出なかった案件でした。議会討議の中でも、取手駅西口の基本計画が最初「芸術と文化」であったため、それは異なるウエルネスタウン構想に反対という意見。また、取手駅の開発には、東西自由通路が必須ですが、今回の予算に計上されていないので反対という意見も出ました。

採択寸前まで悩みましたが、基本的にウエルネスタウン構想の考え方には共感する部分もあり、また、5月か6月には意見の募集をするということでも賛成しました。結果、賛成多数で可決されました。

取手市暴力団排除条例
全員賛成で可決されました

暴力団が市民の生活や事業活動に不当な影響を与えている現状を踏まえ、暴力団の排除を総合的に進めるための取手市暴力団排除条例ができました。市民の安全で平穏な生活の確保に繋がる条例です。

当然賛成しました。
結果は全員賛成で可決。

東日本大震災で発生したがれきの受け入れに関する決議
賛成多数で可決されました。

この決議に反対した議員は2名で、その中の1人が私です。がれき処理の必要性も理解できますし、被災地の心情を思うと胸が詰まります。

しかし現在、常総広域センターには、放射能に汚染された焼却灰や飛灰の詰まったドラム缶が750本以上もあり、仮置き場も満杯に近い状態です。また、茨城県も被災地であり、県のがれき処理もまだ終わっていない段階です。この状況で受け入れるのではなく、焼却灰や飛灰の行き場がきちんと決まり、放射能汚染物質が封じ込められる環境が整った段階で受け入れをするべきと考えます。現状では汚染物質の拡散の危惧もあります。汚染調査も十分にできないであらうこと、灰の基準値の根拠も不明確であること、近隣住民への説明等もこれからという現段階では、安易に賛成できないと考えました。

国に提出される意見書

- 父子家庭支援策の充実を求める意見書
- 心の健康を守り推進する基本法の制定を求める意見書
- 若者の雇用をめぐるミスマッチ解消を求める意見書・・・中小企業は、ハローワークで求人募集し、若者は就職支援サイトを利用する。「情報のミスマッチ」を解消して欲しいという意見書です。
- TPPへの参加中止を求める意見書
- 都市改正機構賃貸住宅を公共住宅として継続し、居住者の居住の安定を求める意見書
- 消費税増税に反対する意見書。

結果はすべて可決

請願・陳情

請願3件、陳情10件が提出されました。各委員会で話し合われ、最終日の本会議で賛否が決まりました。請願の3件とも可決され、意見書として国に提出されます。今回は、次の3件を取り上げます。

● 消費税の増税は行わない事を求める意見書提出に関する請願
この請願は悩みました。この経済下の今、増税する必要はないという意見を取り賛成しました。結果は賛成多数で可決

● 取手駅C街区の市有地売却に関する百条委員会設置を求める陳情
C街区市有地売却に関し12月議会で話し合いがなされている最中に土地が売却されてしまいました。何故、議会にもかかわらず、報告もなく、慌てて売却したのか疑問点が残ります。また、行政は市民の疑問に対して何度でも明確に説明し、理解を得るという姿勢が大切であり、それが市民の信頼に繋がると考え賛成しました。

結果は反対多数で不採択。

● 予算から「桜が丘自治会館の補助金」を削除する陳情
臨時自治会総会で自治会館を作る事に決まり補助金が申請されました。自治会の中で討論が少なかつた事は否めませんが、臨時総会で可決した事は事実です。予算から補助金を削除するという事より、自治会の中で話し合うべきと思い、この陳情に反対しました。

結果は反対多数で不採択。